

せとうち町

第194号

令和6年
8月発行

議会だより



7月28日語る会で請島・与路島へ伺いました

本会議の様子は、映像でもご覧いただけますのでスマートフォンやタブレットでご視聴される場合は、右のQRコードにカメラを向けることで視聴サイトへと繋がります。またパソコンでご視聴される方は、Youtubeで「瀬戸内町議会」と検索することでご覧いただけます。



発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地

こんなことを決めました！

第2回定例会

6月5日～7日

第2回定例会では、専決議案2件、予算議案6件、条例議案2件、その他議案4件、契約議案3件の計17件の議案を審議し、それぞれ可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

補正予算

●令和6年度一般会計補正予算

(第1号) 歳出の主な内容は、総務費に101,245,000円、土木費に78,804,000円、教育費に45,377,000円をそれぞれ追加したこと。

歳入については、県支出金113,143,000円、町債に73,100,000円、繰入金に55,371,000円をそれぞれ追加したこと。

固定資産評価委員

●地方税法第423条第3項の規定に基づく議会の同意議案で、現委員「町田重孝」氏、「川井黎子」氏、「久保浩康」氏が任期満了となり、引き続き選任するものでこれに同意しました。

契約議案

●請負契約の締結について
加計呂麻港(俵地区)改修工事請負契約の締結について

令和6年5月28日、丸福建設株式会社、株式会社伊東組、株式会社勇建設、株式会社泰江組、奄美興発株式会社、株式会社里山興業、株式会

社、株式会社藤田建設の7社による指名競争入札の結果、株式会社藤田建設が1金167,981,880円で落札決定し令和6年5月29日付で仮契約を締結しております。工事内容は、上部工474㎡、基礎捨石工724㎡、埋土工5,176㎡、付属工一式を実施するものです。

●請負契約の締結について

加計呂麻地区の荒廃農地を再整備し、農業振興を図るため、ミニショベルを購入するもので、令和6年5月24日、コマツカスタマーサポート株式会社九州沖縄カンパニーとの随意契約の結果、1金6,600,000で落札し、令和6年5月27日付で仮契約を締結しております。

教育長の任命について

●「盛島正行」氏を地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、任命するものがあります。任期は令和6年7月13日

から令和9年7月12日までの3年間であります。

●向野議長からお礼の言葉

中村教育長におかれましては、平成30年7月13日から令和6年7月12日まで2期6年にわたり瀬戸内町の教育行政を支えてこられました。

中村教育長は、子ども達の「自ら学び自ら考える力」を育むため、その卓越した指導力と深い知識をもって、ICT教育の導入など、私たちの町の教育の発展に多大な貢献をされました。

教育長のこれまでのご尽力に対し、改めて深く感謝申し上げますとともに、今後のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和6年第2回瀬戸内町議会定例会（6月5日～6月7日）議案・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		泰山祐一	福田鶴代	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	中村義隆	岡田弘通	安和弘	
承認2	令和5年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	承認
承認3	瀬戸内町税条例の一部を改正する専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	承認
51	令和6年度瀬戸内町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
52	令和6年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
53	令和6年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
54	令和6年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
55	令和6年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
56	令和6年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
57	令和6年度特定離島ふるさとおこし推進事業(ごみ処理広域化・減量化対策事業)塵芥架装車売買契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	可決
58	西古見GATEの設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
59	職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
同意2	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意3	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意4	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
60	加計呂麻港(俵地区)改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	可決
61	令和6年度特定離島ふるさとおこし推進事業(農用地開発・造成機械整備)物品売買契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	可決
同意5	教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意

賛成 ○ 反対 × 欠席 △ 議長は採決に加わりません —

5人の議員が一般質問

定例会第2日目、3日目に一般質問が行われ、
5人の議員が町政について質問しました。
通告順（発言順）に掲載します。



5P	柳谷 昌臣 議員 ●観光振興について ●農林水産業振興について ●鳥獣被害対策について ●嘱託員の在り方について
6P	永井 しずの 議員 ●クルーズ船について ●加計呂麻島の活性について ●出生率について
7P	池田 啓一 議員 ●町づくりについて
8P	泰山 祐一 議員 ●子ども支援について ●加計呂麻島、請島、与路島の振興について 他
9P	福田 鶴代 議員 ●学校教育について ●療育事業所について ●DXについて ●移住者について 他

私はここが聞きたい！
町政を問う

一般質問とは

一般質問とは、町の行政全般（一般事務）に関して、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

また、質問に対する答弁書が作成され一般質問の後、それぞれの議員へ配布されます。

質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

ただし、一般質問に対する関連質問は、許可されていません。



海の駅

柳谷議員 — 観光拠点となる海の駅の在り方について

町長 — お土産・特産品販売を開始し今後も活性化に取り組む

観光振興について

柳谷 本町の観光拠点となる海の駅の在り方について伺います。

町長 海の駅のテナントとしての特産品売り場につきましては、5年度に2階へお土産・特産品を販売する事業所を募集、10月より営業を始め、売り上げも伸びてきているようです。今後も海の駅活性化に向け取り組んでまいります。

農林水産業振興について

柳谷 スマート農業を含め今後の農業振興対策について伺います。

町長 令和2年度よりスマート農業に関する情報収集や生産者の理解を深めるための研修会・実演を開催してまいりました。



柳谷 昌臣 議員

現在、様々なスマート農業技術や機器類が出回っておりますが、本町の農業にとつても効果的で生産者のためになるものを導入していく必要があると考えております。

そのためにも引き続きスマート農業に関する情報収集や周知等を行うとともに、農家や生産者団体等の意見・要望を踏まえることが重要であると感じております。

柳谷 全国的に畜産農家の方々が大変な状況ですが、持続可能な畜産経営に向けた対策・取り組みについて伺います。

今年度も県の補助金を活用し乾草、濃厚飼料及び敷料の運搬費用に対して助成を行うなど継続的に支援しているところであります。

ます。

町長 子牛取引価格は全国的に値下がりが続いており、令和6年3月時点で28ヶ月連続で前年度実績を下回っております。これまで、国及び町独自の事業として令和2年度から濃厚飼料購入費用に対する助成や子牛運搬費用の軽減を目的とした助成を行ってまいりました。

今年度も県の補助金を活用し乾草、濃厚飼料及び敷料の運搬費用に対して助成を行うなど継続的に支援しているところであります。

今後の対策として、生産者の経営がどのような状況にあるのか関係機関で情報を共有するために、全畜産農家の簡易経営診断を早急に実施し、診断結果を鑑み対策を講じていきたいと思っております。

鳥獣被害対策について

係機関で情報を共有するために、全畜産農家の簡易経営診断を早急に実施し、診断結果を鑑み対策を講じていきたいと思っております。

柳谷 イノシシ等の鳥獣が農地・学校の通学路で目撃されていますが対策を伺います。

町長 鳥獣被害防止特措法に基づき策定しました被害防止計画を基本に、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した緊急捕獲活動や被害防止対策に係る周知、侵入防止柵の設置を行う整備事業を併せて実施しております。

今後におきましても、猟友会や鳥獣被害対策実施隊、教育委員会及び地域住民や各関係機関等との連携を密に図りながら被害防止に向け取り組んでまいります。

でまいります。

教育長 学校の通学路等において鳥獣が目撃される事案は、数校の学校から報告されていますが、校門や通用門に侵入防止ネットを設置したり、児童・生徒や保護者に対し、出没情報や注意喚起のメール送信を行うほか、登下校時に巡回するなどして早めの対応に努めています。

今後学校や地域及び関係機関と連携しながら危険状況の早期除去や注意喚起を行い、校内及び通学路等の安全確保に努めてまいります。

嘱託員の在り方について

柳谷 地区によっては、なり手不足で困っているとの声もありますが、今後の対策と在り方について伺います。

町長 令和6年3月末現在、集落における人口が9人以下の集落が、西方地区(1)、鎮西地区(3)、実久地区(4)の8集落が存在しております。

今後は、人口が少ない集落やなり手がいない集落については、2つ以上の集落を統合した形で嘱託員を配置することも検討すべきと思っております。

観光振興

永井議員 — クルーズ船について

町長 — 観光振興に直接繋がるような受け入れ態勢を目指す



永井 古仁屋港にクルーズ船が寄港した際の町と商工会・観光協会との連携について伺います。

てクルーズ船について



永井 しずの 議員

美せとうち観光協会が主体となる「瀬戸内きゅら島観光受入連絡協議会」が対応しており、協議会の中に観光協会、商工会、町が入っております。クルーズ寄港時においては、事前に観光協会と町で協議の場を持ちながら、通訳対応、物販、庁内の飲食店への働きかけを観光協会及び商工会が主体的に行い、入港・出港セレモニー関係を行う事としました。今後は事前打合せやその後の密な情報共有を重視しつつ、さらには、町内の観光振興に直接つながる様な受け入れ態勢を目指し

て参ります。
永井 いろんな団体と情報共有して町にお金落ちる仕組みを是非、工夫していただきたいです。

加計呂麻島の活性について

永井 瀬戸内町の観光の名所として広く加計呂麻島をPRする施策を伺います。
町長 まず、観光拠点施設となる加計呂麻島展示・体験交流館を主とした情報発信やイベント開催に今後より注力していくとともに、各民間事業者がそれぞれのSNSで発信する情報も重要な要素だと考えております。今後に於いては、来ていただいた方が加計呂麻島のリピーターになりたいと感じるような景勝地やトイレ・シャワー施設を含む各観光施設の維持管理、エコツーリズムの観点での

e・bike事業のさらなる展開を含め、新たに建設される加計呂麻島ターミナルビルとの情報発信連携も重要だと考えております。
永井 加計呂麻島で販売している物品に付加価値を付け、「この金額の一部は加計呂麻島活性化の為に使います」などの文言を付け、少し金額に上乗せしてはどうですか。

町長 町の人口を増やす為の施策としては、就業対策、住居対策、子育て支援対策を行なっており、これらの政策が相まって、出生率アップに繋がることを期待しているところであります。
永井 2018年から2022年の5年間の平均出生率が高いのは1位徳之島町2.25、2位天城町2.22という結果が出ていますが、瀬戸内町の出生率はどうなっていますか。

な数字でなく、継続できる出産・子育て支援、就業、住宅施策などとしていく必要があると考えています。
永井 瀬戸内町は不妊治療に対する助成など、他にも出産・子育てに対して手厚い助成がなされているのが出生率アップに繋がっているとあります。今後、瀬戸内町は出産・子育てがし易い町と評判になり、全国から若い層の方が移り住み、人口が増えていく事を願っています。

出生率について

永井 加計呂麻島の区長を中心として「加計呂麻島活性化委員会」を立ち上げたら良いのではないかと思います。
永井 町として人口を増やす為の出生率アップの施策があるか伺います。

保健福祉課長 出生率というのは15才から49才の1人の女性が生涯産む子供の人数で、瀬戸内町はR3年46人、R4年47人、R5年64人で2.27ということで徳之島を上回っています。
町長 天城町の場合は何年後かの消滅自治体にも挙げられています。瀬戸内町は一時的

池田議員 - チームせとうちについて

町長 - 町民・役場職員・郷友会などが一体となり町政運営



町政運営について

池田 (一) チームせとうちについて、伺います。

①その想いと事業内容は。

町長 「チームせとうち」のその想いと事業内容についてでありますが、想いについては、令和5年12月議会でも答弁したように、町民・役場職員・郷友会などが一体となり、意見などを反映して、町政運営を行いたいとの想いがあります。

事業内容については、せとうち未来展望2050の将来像を実現するために、長期振興計画及び各個別計画を策定し、役場職員・郷友会等、また町民の意見や提言をいただきながら各種事業の目標達成を目指しているところであります。



池田 啓一 議員

池田 ②各地域の郷友会や観光客からの問題提起や政策提言等は。

町長 毎年行われる郷友会等には可能な限り参加しておりますが、その中、本町の事業のPRを行っており、郷友会からは、様々な問題提起や政策提言を頂いているところであります。

観光客については、あまみ大島観光物産連盟や奄美せとうち観光協会が実施している観光客アンケートを共有し把握しております。全てに対応できてはいませんが、今後の観光施策へのヒントになり得るものだと認識し重

要視しております。また、SNS等で問い合わせがあった場合、住所、氏名がはっきりしている方については、可能な範囲で回答をしていますところでありま

池田 ③現在進行中の各事業の内容と今後の展望(イ)「ゼロカーボン」事業

町長 瀬戸内町ゼロカーボンシティー宣言を令和3年7月7日に行ないました。令和5年3月に瀬戸内町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の改訂を行い、令和6年度に瀬戸内町地球温暖化対策実行計画(区域施策

編)の策定を行うところです。

また、今後ドローンが緊急時にも対応できるように関係各所と連携を深めながら進めていきたいと考えています。

池田 (ロ)「西古見GATE」事業

町長 本年7月中旬本オープンを目指し、現在管理運営委託先の西古見集落と連携を取りながら鋭意準備を進めております。

キャンプ場内には、浴場、宿泊棟、管理棟、炊事棟、EVガレージ、テントエリアを整備し、①地域の活性化、②集落の防災力強化、③再エネ実証の場、という整備目的につながるよう、今後管理運営に尽力してまいりたいと考えております。

池田 (ハ)「奄美アイランドドローン株式会社」事業

町長 2月29日より隔週の木金に与路島へドローンで日用品の輸送を行っています。請島も近日中に地上運送業務契約を集落と締結し、物資輸送を開始いたします。

また、今後ドローンが緊急時にも対応できるように関係各所と連携を深めながら進めていきたいと考えています。

池田 (ニ)「チーム西方による持続可能なまちづくり事業」事業

町長 昨年11月より移動販売車の運行委託事業をスタートし、買い物に困難である高齢者の方を中心に大変好評を得ております。

また、旧久慈小中学校を拠点とした農泊推進型施設整備事業に着手し、令和5年度に実施設計を終え、令和6年度には改修工事に取り組みます。

池田 (ホ)「第三セクターによる海上交通」事業

町長 これまで民間事業所が行ってきた貨物フェリーによる海上輸送業務を引き継ぐ形で、今後も海上輸送を

継続してまいります。

池田 郷友会・観光客等外部の方々とは、それなりに連携が図られてると思いますが、町民との関係はどうか、疑問に思う。

広報紙だけではなく、会話を...。大きなプロジェクトや事業については説明会等...。

議員には、予算・執行権は無いので十分な説明はできない。町民と情報の共有を図り町づくりに繋げて欲しい。

各種事業は、それぞれの地域の困り事や活性化への解決策であり対策だと理解していただきます。

今後は、それぞれの事業の自立に向け創意工夫を図って欲しい。



子ども支援

泰山議員 - 病児保育サービスについて

町長 - 関係機関と話し合いの場を設けたい

子ども支援について

泰山 令和2年度国勢調査における奄美群島の20代と30代の世代別人口数についてお尋ねします。

町長 奄美群島の20代・30代世代別人口数については20代が5,118人、30代が10,347人です。

泰山 この数がどの程度なのかというところをご参考にご紹介させて頂きたいと思えます。皆様アマミノクロウサギの数ご存知でしょうか。令和3年度時点の環境省の調べによりますと、奄美大島及び徳之島で合わせて11,549頭から39,162頭と云われております。20代と30代を合わせて若いシマツチユの数が絶滅危惧種のアマミノクロウサギより少ない状況となっております。

泰山 担い手不足と社会人口減少対策として、瀬戸内町が主導で南種子町を参考に病児保育サービスの設置を検討しているかどうかお尋ねします。

町長 病児保育事業につきましては、病氣中、または病後の対象児を保育所や病院内に併設されている施設に預ける事により、保護者が子供のために仕事を休むこと無く就業できるように、保護者の負担軽減にも寄与できると考えております。南種子町の事例は、公立病院内に併設されている施設で、町立で診療所を

運営している本町としても参考になる取り組みであると認識しております。今後、保育所、幼稚園、小学校、へき地診療所等と関係機関と協議の場を設け、話し合いを持ちたいと思います。

泰山 1つ提案です。このへき地診療所の2階を活用して、病児保育という受入れ場所をエレベーターも改修工事もしておりますので、先生方も1階フロアにいらっしゃるといふことで良いと思うのですが、前向きに協議を進めていくことは可能でしょうか？

保健福祉課長 確かに場所としたら1階フロアに医者と看護師も常駐していますので、2階の一部を確保して、そのスペースを用いて病児保育をやることは理想だと思えます。今2階の病床19床休床中でございますが、それに関しては県の方と一部用途をそのように変更していいか確認して問題を整理して検討して参りたいと思います。

加計呂麻島、請島、与路島の振興について

泰山 請島の池地中学校の存続対策として、与路島で行っている海の子留学を導入するお考えがあるかお尋ねします。

教育長 現在「にほんの里加計呂麻島留学期度」の対象校となっております。同制度を活用しての留學生の確保に努めています。海の子留

学里親制度を導入するにあたっては、これまでの実績のあった与路島とは異なりゼロからの取組となるため、留學生や里親の募集はもとより、宿舍の整備や予算の確保など課題も多いところですが、留学のニーズを把握するとともに、存続委員会や学校、地域とも意見交換しながら、可能性について模索していきたいと考えています。

泰山 この学校存続委員会というものを、更にこの島をどう存続させていくのか、更に再興していくのかということやうなことをあつてこそ存続委員会ではなかなかと思います。今教育委員会の方で存続委員会のサポートや聞き取りなども随時あればしていると思うんですが、けれども、請島・与路島・加計呂麻島それぞれをしっかり島をどうようにしていけばいいのかがというところを考

えるにあたり、この「奄美群島成長戦略ビジョン2033」というものは非常に良い機会でもあると思いますし、きっかけになるのではないかと思いますので、今後の学校の存続活動を踏まえて島をどうしていけばいいのかということも、過去、現在そして未来を踏まえて考えていただきたいと思えます。

泰山 阿多地集落の定住人口が現在ゼロとなっている状況を受けて、瀬戸内町としてこの集落の再生を目指す方針なのか、現状を見守る姿勢を取るのか、具体的な方針についてお尋ねします。

町長 阿多地集落の再生の具体的な方針については、集落居住者及び集落郷友会の方々のご意向を基に検討していきたいと考えております。



泰山 祐一 議員



学校教育

福田議員 - コミュニティスクールの進捗について

教育長 - テーマごとに熟議を重ね出来るところから取組む予定

学校教育について

福田 瀬戸内町のコミュニティスクールの進捗と今後の活動目標についてお尋ねします。

教育長 コミュニティスクールにつきましては、R5年度より古仁屋中学校区運営協議会を設置し、これまで4回ほど開催した中で、学校経営方針の承認のほか、学校評価におけるアンケート調査や学習定着度調査の結果等を基に、学校教育活動の取り組みや成果・課題等について意見交換を行いました。学力向上や規範意識の向上、環境整備など様々な課題が提起されたことを踏まえ、今後はテーマごとに熟議を重ね、運営協議会が一つのチームとなつて出来るところから取り組んでいく予定です。



福田 鶴代 議員

療育事業所について

福田 療育事業所が、「幸喜会」から「REAL」に引き継いで約2ヶ月が経ちましたが、進捗についてお尋ねします。

町長 ここ園が新しい事業所に引き継がれましたが、保育士・指導者等も以前の職員がほぼ引き継がれていますので、利用している子ども達の混乱もなく円滑なスタートが切れたと感じております。
福田 アドバイザーとして（株）ひいらぎ代表の茂呂さんを迎えましたが、今後どのような取り組みをしていく

のかお尋ねします。

町長 アドバイザーとして今後どのようにしていくのか、のご質問ですが、正式にはアドバイザー依頼を何処へも行っておらず、ご質問の茂呂氏は候補の一人と考えております。ここ園に於いては、引き継ぎ書年度でまた夏以降新たに潤生会に於いて療育事業所が運営開始となりますので、町の全体的な療育体制構築と併せて、両事業所の立ち上げサポートも行う専門的なアドバイザーは必要と考えております。

DXについて

福田 総務省事業で採択を受けたフロントヤード事業の今後、毎年かかる維持管理費についてお尋ねします。
町長 「自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト」につきましては、総務省の補助対象となる施策、また補助対象とはなりません。必要不可欠な施策など併せて13の施策を並行し実施中であり、実当プロジェクトで実施し総務省補助対象となる事業は、あくまでも「実証事業」に関するものであります。で、次年度以降も引き続き同じシステムなどを活用するかどうかは、今年度の効果検証次第となります。仮に「同様なシステムなどを同様のプランで次年度以降も継続して活用する」とした場合のランニングコストは、概算見積額で

15,403,000円となっております。全体の経費について」
福田 加計呂麻島民から職員配置より遠隔窓口をして欲しいという要望があったのかについてお尋ねします。
町長 正式な要望はございません。只、加計呂麻島ターミナルの整備計画に当たり、本町と包括的連携協定を結び日本郵便株式会社様より、地方公共団体事務の受託に関するご提案をいただいております。

移住者について

福田 ローカルルール削減の目標計画についてお尋ねします。
町長 ノンコア業務量10%削減を目標としております。
福田 「業務量を削減するためのサービスやシステムに関しての全体の経費とその費用対効果の年間試算結果についてお尋ねします。
町長 「業務量を削減するためのサービスやシステム」0件です。

議会における DX 推進

【向野議長】

令和5年3月にデジタル変革条例を制定し、瀬戸内町議会は持続可能な地域社会への変革を目指してデジタル化を推進しています。私自身、全国離島振興市町村議会議長会副会長や奄美群島市町村議会議長会会長など多くの役職を担っており、出張で不在となることが多いですが、LOGOチャット機能を活用することで、議長としての決裁や議会事務局職員との情報共有を円滑に行い、効率的な意思疎通を図っています。今後もデジタル技術を駆使し、地域の発展に寄与してまいります。



【池田副議長】

操作に不安を感じつつも、タブレットの活用によるメリットを実感しています。具体的には、情報共有や事務効率の向上、コピーの削減、情報発信の多様性、ペーパーレスによるコスト削減、データの保存と整理、必要な資料の検索です。これらの利点を活かしながら、少しずつタブレットに慣れ、活用を増やしていきたいと考えています。

【柳谷議会運営委員会委員長】

タブレットを活用したペーパーレス化により、印刷費用や職員の作業時間を削減することができます。また、資料の保管スペースの削減や森林資源の保護、廃棄物の削減等にも繋がっていきます。さらに、タブレットを通じてリアルタイムで情報共有ができるため、迅速な意思決定が促進され、業務の効率化も実現します。今後も瀬戸内町デジタル未来宣言に基づき、議員活動や議会運営においてもデジタルファーストの取り組みを推進していきたいと考えています。





【泰山議会運営委員会副委員長】

タブレットの活用により、議案や招集案内をオンラインで受け取ることが可能となり、業務の効率化とスピード感が向上しました。今後は、不在届のペーパーレス化、リアルとリモートを選べる委員会会議の実施、委員会などの発言をAIによる自動文字化体制を整えられたら良いと考えています。また、会議録の印刷物を廃止しデータ提供に切り替え、図書館等にタブレットを設置して会議録を閲覧できる環境を整備することも必要だと感じています。

【福田議会運営委員会委員】

タブレット活用により、一般質問の資料作成がスムーズになり、手書きの煩わしさから解放されました。また、会議の資料もタブレットで届くことで資料整理の手間が減少し、議案もタブレットで対応していきたいと感じています。今後は、タブレットを使いこなし、自分なりの資料作成や保存に役立てたいと思います。さらに、役場との情報共有を進め、DX推進に取り組んでいくことが重要だと考えています。



議員と語る会（議会報告会）

令和6年7月27日（西古見・網野子・阿木名・蘇刈）と28日（与路・池地・花富・嘉入・古仁屋）に議会報告会を開催しました。たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。



古仁屋会場



蘇刈会場



第44回みなと祭りに参加しました！

議会だよりについて、ご意見をお聞かせ下さい。
書面若しくは、setouchitown.gikai@gmail.com へお願いします。

まちの未来が見える

議会傍聴においでください

次回の定例会は9月3日に開会予定です



インターネットで生中継。瀬戸内ケーブルテレビの録画放送でもご覧いただけます。

編集後記

本のススメ

本を読むとどうなるか？
本を読むと心が豊かになる。
本を読むと知識が増える。
会話が弾む。感想文が書ける。感動する。感激する。ヒマがつぶせる。時間を有効に使える。人が好きになる。人生が楽しくなる。漢字の知識が増える。心が落ち着く。よく眠れる。人生について考えさせられる。仕事があまくいく。クヨクヨしなくなる。何とかなる。等々良いことだらけではないか。

図書館には本がゴマンとある。読んでも読んでも読み切れない。ああ人間はこんなにも偉大だったのだ。古今東西本がたくさん。朝から晩まで本に囲まれていたいのだがそうもいきまじい。読んでも読んでも読み切れないというのがとてもいい。

人生は知らないことだらけだと感じる。積ん読でもいい。いつか読むかもしれない。ムダかも知れないがムダも又良しである。

皆が本を読むときっと世の中はうまいくいくなのではなかいか。

戦争のない平和な世の中、世界になるのではないかと思うのだ。

議会報編集委員会

委員長 元井 直志
副委員長 泰山 祐一
委員 福田 鶴代
委員 柳谷 昌臣
委員 池田 啓一
委員 向野 忍
委員 義永 将晃